



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第131号 2026年1月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。



第45回秋の谷戸まつり

秋の最終日は小春日和のなか、大盛況で笑顔に満ちていました。気候変動に翻弄されながらも、保全活動の成果が本年も実りますように。

お知らせ

どんど焼き 1/12(祝・月)

場所：野外生活体験広場

山崎の伝統行事を引き継いでいます。(公財) 鎌倉市公園協会と協働で開催します。

お椀とお箸をご持参ください！



相川明子理事長 「第4回 樋口恵子賞受賞」



地域に根ざし、地道に活動が続けている方にこそ光を当てたいという賞で、青空自主保育なかよし会を発足して40年、フィールドにしている山崎の谷戸の貴重な景観と生態系を保持してきた長年の功績が讃えられました。

麦わら細工「午年」



今年も秋が短く、一カ月ほどしか秋を感じられませんでした。10 月まで残暑が続き、12 月になると、一気に真冬になりました。谷戸では毎日霜がおりています。台風がなかったせいもあり、例年に比べ雨が少なく、谷戸全体で水不足の状態が続いています。ススキの穂が出るのが遅れ、11 月になってから穂が出て来るススキもありました。

●11 月から 12 月の谷戸でよかったこと心配なこと

よかったこと 湿地の奥で、ノウサギのフンを大量に見つけました。数年ぶりのことです。まだ健在のようです。小段谷戸に設置した「インセクトホテル」が満室？になっています。虫が利用できるよう、竹筒などを束ねて設置してありますが、ハチが幼虫のため、筒の中に産卵して入口を泥や枯草でふさいであります。ハチの種類によっては人家の隙間などに巣を作るので、古民家の代わりになるようなインセクトホテルを設置してあります。夏だけでなく冬も使われていることが分かりました。北日本で雪が早めに降り始めたためか、12 月



キンクロハジロ(♂)



マガモ(♂)

になってから冬鳥の数が増えてきたようです。管理棟前の「上の池」にはシベリアからやってくるカモの仲間、マガモ、キンクロハジロが来ました。キンクロハジロは 3 年連続で同じ鳥？が来ているようです。谷戸の湿地でヤマシギが見られたそうです。数年ぶりの記録になりました。

心配なこと オギやススキに巣を作る、カヤネズミの調査を年に 2 回実施していますが、今年の秋は巣が一個も見つかりませんでした。一年おきに増減を繰り返すようなので、来年に期待しています。湿地の奥まで水不足の状態が続いており、ヘイケボタルの生息地や、ヒキガエルの産卵場所も乾き始めています。田んぼの「深田」といわれる区画はいつも水が豊富ですが、今年は水があまりありません。山からの水（絞り水）が減少しているのでしょう。

●谷戸の林 40 年前と今 その 1

40 年前に言われていたことが、現実にはその通りになっていないことがたくさんありますが、その一つが谷戸の林の変化です。

コナラやクヌギの雑木林（落葉樹）がシイやカシの原生林（常緑樹）に戻っていくとされていましたが、必ずしも順調に変化していません。大きくなりすぎた木は、風や大雨で根ごと倒れ、市内



近年増えてきたモミジの幼木

のいたるところで、崖崩れをおこしています。その跡地には、落葉樹ではあっても、雑木林にはなかった（駆除されていた）、ミズキやカラスザンショウ、アカメガシワなどの落葉樹が育ち始めています。このような場所は、最終的には、モミジやケヤキの林に代わっていくそうです。そのせいか、数年前から谷戸のあちこちで、モミジ（野生種のイロハカエデ）の幼木が育ち始め、紅葉が目立ってきています。がけ崩れの跡地をどうするか、増えてきた落葉樹（カラスザンショウやミズキ）をどう考えるか、現場の視点で考えていければと思います。


田んぼ班

湯水に負けずに育った稲、でもどんなお米になったのか心配。稲刈りから、はさでの乾燥、脱穀、籾干し、籾摺り、精米を経てようやく手にしたお米はちょこっと小粒でしたが、白く輝く美味しいごはんとなりました。

畑班

毎年収穫減が続いていたさといも。ついに50kgを切り、洞入りを断念した。翌年の種芋用、春の谷戸まつり用と2つある洞だが今年は空っぽ。でも縄文時代からの作物だけになんとか継続しないとね。




 11/14 たのくろ豆の殻出し

生態系保全班

試行錯誤の上、完成したインセクトホテル！小さな穴に器用に草を詰める虫が利用していました。その姿に保全活動への意欲がさらに高まります。今年は早めの対策で、オタマジャクシを一匹でも多く守るつもりです。




 12/10 野草畑の手入れ

雑木林管理班

昨年11月に雑木林を調査し、今シーズン間伐予定の木を選定しました。主に枯れ木、危険木を中心に伐採する予定です。また、間伐、枝打ち等を行い、春先には薪も作る計画です。



 11/26 さつまいも洞入れ

農芸班

6月に種蒔したたのくろ豆は、10月下旬に収穫します。カラカウに乾燥させてから足踏み脱穀機で取り出します。ガラングロンと勢いよく回るようペダルをリズムカルに押していくには、集中力と下半身の筋力が要ります。

自然遊び班

今年の里山探検隊は、春に全員での田うないから始まり、その後は3年生以上が一年間を通してお米作りをしました。1、2年生も畑仕事を頑張りました。2月の収穫祭は皆で育てたもち米でお餅つきです。お楽しみに！

植物育成班

野草畑の手入れをしました。この季節はほとんど枯れていて、何を残すか見極めるのは難しいですが、挑戦するのも楽しさの一つです。カナムグラの除去を続けつつ、新芽が出る前にオギ原の手入れも進めていきたいです。

谷戸の生きもの

ヨモギに集まる虫たち

新年あけましておめでとうございます。今年も素晴らしい虫と出会えることを祈りましょう！さてヨモギは日当たりのよい道端などに生えるキク科の多年草で、今頃は冬越しの葉を広げている。昔から灸に使うもぐさ、薬草、草餅などに利用されてきた。山崎の谷戸にはそのヨモギと切っても切れない関係にある虫が何種類かいる。キクスイカミキリは茎に産卵し、幼虫は茎内部を食べて成長し、地下の茎で蛹となり羽化。そのまま冬を越して翌春に成虫として現れる。大きさは1 cmほど。5月ごろ途中からしおれたヨモギがあったら探してみよう。

ヨモギハムシは晩秋にヨモギで多くの個体が集まり繁殖活動をしているのを目にする。卵で越冬と言われているがこれだけ元気な親たちが皆死んでしまうとは思えない。成虫で越冬する個体もいるのではないかな。実は昆虫は分かっていないことだらけなのだ。夏の間見ないのは“夏眠”しているからだろう。そしてハスジカツオゾウムシ。“象虫”（口が伸びた形を象に見立てた）の一種で、“カツオゾウムシ”（かつお節のような色と形からその名がついた）の仲間だが、斜めの模様があることから“ハスジ”だ。谷戸ではカツオゾウムシはミゾソバにいてハスジカツオゾウムシはヨモギにいる。そして必ずといっていいほど交尾中だ。最初はたまたまかと思ったが他のブログのコメントでも「交尾中の個体をよく見かける」とあるので、ここだけのことではないようだ。見かけたら黙って通り過ぎないで、「お盛んね！」と一声かけてあげよう。（たのくろまめお）

キクスイカミキリ



ヨモギハムシ



カツオゾウムシ
(ミゾソバ)



ハスジカツオゾウムシ



谷戸往来

山崎小学校脱穀指導

11/19(水)

当会会員が活躍する PTA 谷戸ボランティアと、4・5年生向けに足踏み脱穀機の指導をしました。粃摺り・精米、収穫祭までお手伝いをしています。

西鎌倉小学校来訪

11/26(水)

6年生5名が田んぼや農業について学ぼうと来訪しました。私たちの田んぼ活動を紹介し、米作りの苦労と魅力を伝えました。

深小ふれあい広場 11/29(土)

PTA の皆さん、先生方と力を合わせて「縄ない」「むしろ編み」「体験学習のパネル展示」を行いました。5年生が育てた米のわらをねじって持ちかえて縄をない、飾りを付けて特別な作品ができあがりました。

北鎌倉女子学園中学校1年 保全活動 12/3(水)

学校の近くの身近な自然を学ぼうと40名が来ました。谷戸の景色を見学、落ち葉かきをしました。



放課後学童かまくらっ子 12/13(土)

60組 120名の親子が参加。紅葉の中、正月飾り作りを楽しみました。



深沢小5年 脱穀 10/27

★脱穀が楽しかったけどタイミングを取るのが難しかった。

★手がかゆくなったが、三つの作業でやっと米の部分が取れることが大変だと思いました。

★足踏み脱穀機の威力が強くてびっくりしました。

★簡単だと思ったけど意外と手間がかかった。

★唐箕という作業で風を送り、ごみとお米を分ける機械が、昭和からずっと使ってる事が驚きました。

★脱穀をするのに千歯こぎ、唐箕、ふるい、脱穀機の4つの道具を使わないといつも食べているおこめにならないということを初めて知って、いつものお米になるまでいろいろな苦労があるということを知った。

★今までの谷戸活動の中で1番好きな作業で、とても大変だったけど、とても楽しかったです！

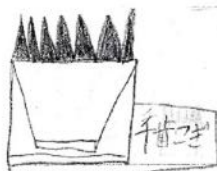
★いつもより力を使う作業だったので大変でした。今回の脱穀で米の残しを前より減らそうと思いました。

★昔ながらの米の機械で脱穀などができたのが嬉しかったし、昔から大切にしていることがわかった。

富士塚小5年 脱穀 10/23

★足踏み脱穀機が楽しかったです。もみを持つときに、まあまあ力が必要だったけど、だんだんとれていくのがきもちかったです。

★すごくやったつもりでも、半分のこった。大変だけど楽しかった。



★千歯こぎは、いねがとれるかんかくが手にきて、楽しかった。



★脱穀はたいへんだったけど、今まででいちばん楽しかったし、機械じゃないやつでやったので、昔のたいへんさがわかりました。次食べるのがたのしみです。



★唐箕は、ロックをかけたり、ダイヤルを回したりいっぱいあったけど、一番すごかったのはダイヤルだった。古いのにけっこう分別したりしててすごかった。

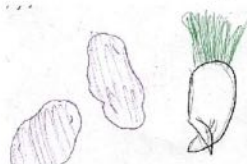
富士塚小5年 収穫祭 12/11

★一年を通して米作りをして、米を育てる大変さや料理する楽しさがわかり、ふだん食べているお米のありがたみが増しました。



★今日は、いままでのそだててきたお米を食べる日でした。この日をずっと待っていました。ぼくは③番のわらまき、落ち葉かきチームでしごとをしました。その後にはべる米はおいしかったです。みんなで協力して作ったので、よりおいしく感じました。

★ササを取る場所についてノコギリとハサミで切りました。ノコギリはゆっくり正確で、ハサミは早くスムーズにという両方メリットがありました。



★大変だったけど、おいしい、たのしい、つかれた、うれしい、いろいろあったけど、結局おわりよければすべてよし。だった。



★さい初は、やりたくなかったり、どうしてやらないといけないのかわからなかったけど、やってるうちに楽しくなったり、食べるときを楽しみにしていました。いざ食べるととてもおいしかったです。

教育支援教室ひだまり 収穫祭 12/10

★お米をとぐとき、すごく水がつめたかったけど、そのおかげでおいしごはんがたべれてよかったです。

★火おこしではマッチを使って火をおこしたり、まきを入れたり杉の葉をもやしたり、竹をもやしたりしました。みんなで作ったごはんはとても美味しかったです。

★まず私たちは、野菜を収穫しにいきました。大根、かぶ、小松菜、ねぎなどを収穫してもどりました。収穫したてのねぎは、ものすごいねぎの香りがしました。



★3回目だけど毎回おどろくのは、使う材料がすべて自分たちで作ったものということ、あと米をたくとき、炊飯器ではなく、かまどでたいたのがびっくりしました。


1月


- 11日(日) 田 粃殻くん炭、堆肥切り返し、
むしろ編み ✕
雑 雑木林の調査・測定 ✕ ☆
- 12日(月・祝) **どんど焼き**
- 14日(水) 畑 畑の整備
植 土手の草刈り作業
- 18日(日) 田 粃殻くん炭、堆肥撒き、わら切り、
むしろ編み
雑 雑木林の除間伐
講座「雑木林の管理・炭焼き」☆
青空自主保育にこにこ会保全活動
- 19日(月) 畑 荒起こし ☆
- 21日(水) 生 カエルの産卵場所整備
- 23日(金) 農 たくわん漬け ✕
- 25日(日) 田 粃殻くん炭、わら切り、
むしろ編み ☆
雑 間伐材整理 ✕
青空自主保育なかよし会保全活動
- 26日(月) 畑 じゃがいも予定地の耕し ✕

2月

- 1日(日) 田 木障切り、粃殻くん炭、苗床耕し
青空自主保育やんちゃお保全活動
- 2日(月) 畑 さつまいもの苗床作り ☆
- 4日(水) 植 湿地の草刈り作業
- 8日(日) 田 粃殻くん炭、畔直し、土壌改良 ✕
雑 園内整備 ✕
自 父と子の里山体験 
- 11日(水) 生 カエルの卵の観察 ✕
- 13日(金) 農 味噌作り ✕
- 15日(日) 田 粃殻くん炭、畔直し
雑 雑木林の除間伐 ☆
自 里山探検隊「収穫祭」
- 16日(月) 畑 たのくろ豆予定地の耕し
- 18日(水) 生 カエルの卵の保護作業
講座「野鳥観察」☆
- 22日(日) 雑 雑木林の除間伐 ✕
- 25日(水) 畑 じゃがいも植付けの準備

3月

- 1日(日) 田 道具の手入れ ☆
畑 道具の手入れ ☆
- 雑 山作業道具の手入れ ✕ ☆
- 4日(水) 植 早春の植物の観察 ✕
- 8日(日) 田 畔直し、むしろ編み
雑 雑木林の除間伐 ✕
- 9日(月) 畑 さつまいもの洞だし、伏せ込み☆
- 11日(水) 生 オタマジャクシの観察 ✕
- 15日(日) 田 畔、水口直し、苗床整備 ☆
雑 雑木林の除間伐
自 父と子の里山体験 
- 16日(月) 畑 じゃがいもの植付け ✕
- 22日(日) 田 浸種、ため池整備、苗床整備
- 29日(日) 田 畔、水口直し、苗代整備
雑 斧で薪割り
講座「紙漉き」☆

☆ 谷戸塾 ✕ 里山一日体験
 非会員 参加費500円/組
(申し込みはホームページより)

田 田んぼ班 畑 畑班
雑 雑木林管理班 農 農芸班
自 自然遊び班 生 生態系保全班
植 植物育成班

<お問い合わせ>

住所:
〒247-0066
鎌倉市山崎1667鎌倉中央公園管理事務所内

TEL:
0467-47-1164 (木曜を除く10時~16時)

ホームページ:
<https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

メールアドレス:
ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

QRコード
からHPに
アクセス!



<集合時間・集合場所>

■各班活動 時間:9:30 場所:農家風休憩舎
(農芸班、自然遊び班は、10時~)

次号(会報132号):2026年3月発行予定
会費:郵便振替口座番号 00270-6-115647

